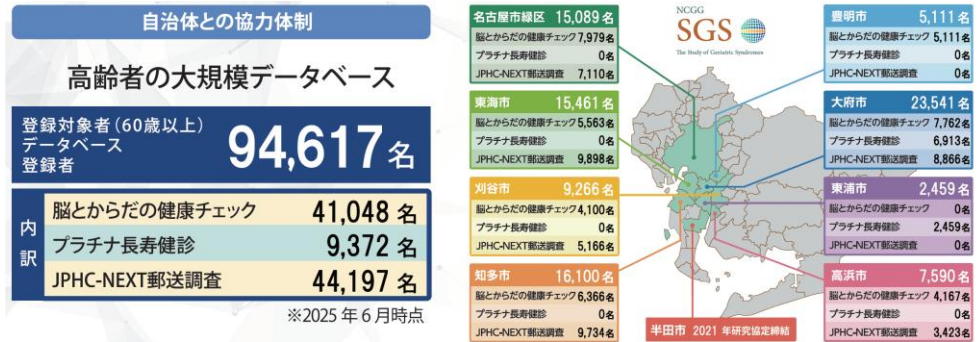


大規模コホートデータベースの構築 (NCGG-SGS)

多くの自治体と研究協定を締結して大規模な調査を実施し、これまでに約95,000名の高齢者のデータベースを構築しています。



研究協定に基づく協働体制 : リアルワールドデータの活用基盤



自治体から医療レセプト情報や介護保険情報の提供を受け、大規模調査に参加いただいた高齢者を追跡し縦断解析を実施しています。

データベースの内容

検査の内容

検査は看護師による問診・バイタルチェック、生活様式やうつ症状などの質問紙調査、歩行速度や筋肉量といった運動機能検査・体組成測定、認知機能検査を実施します。



問診・質問

- バイタルチェック
- 医学的情報 (服薬・既往歴など)
- 運動適応確認
- 一般的特性
- 質問紙調査

運動機能検査・体組成

- 握力
- 歩行速度
- バランス
- 下肢筋力
- 体組成



認知機能検査



- Trail Making Test part A (注意)
- Trail Making Test part B (実行機能)
- Symbol digit coding task (情報処理速度)
- Word memory (単語の記憶)

実施可能な研究事業 (介入研究、検査など)

大規模調査に参加された高齢者を対象とした介入研究やMRI、脳波、血液検査についてもオプションとして実施可能です。

介入研究 ※オプション

- 活動量計
- 活動日誌
- 園芸活動
- ゴルフ
- アプリを用いた自己モニタリング
- ポールウォーキング

その他の検査 ※オプション

- MRI検査
- 脳波検査
- 血液検査
- 遺伝子検査

過去の共同研究の例



◆活動促進アプリ・ポールウォーキングを用いた介入研究

◆セルフモニタリングによる活動促進



◆認知トレーニングエルゴメーターの開発



高齢者の大規模データベース (NCGG-SGS) は今後も拡大予定です。新たな検査・評価項目の追加や、効果検証を行う介入研究など、NCGG-SGSにおけるデータベースおよびコホートを活用した共同研究を募集しています。